

製品名: SGK1 (6E4) マウスモノクローナル抗体**カタログ番号: AMM00740**

研究使用のみ

概要

説明	マウスモノクローナル抗体
宿主	ねずみ
応用	IHC
反応性	ヒト、ラット、マウス
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG1
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% アジ化ナトリウムを含む PBS 液 (pH 7.3)。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	IHC 1:50-1:100
分子量	-

抗原情報

遺伝子名	SGK1
別名	SGK1; SGK; Serine/threonine-protein kinase Sgk1; Serum/glucocorticoid-regulated kinase 1
遺伝子 ID	6446
SwissProt ID	O00141
免疫原	ヒト SGK1 の合成ペプチド

背景

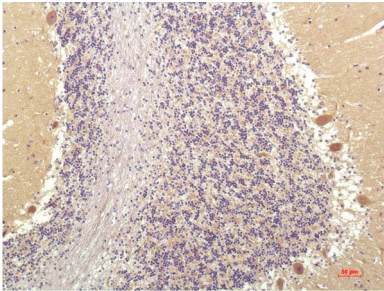
血清およびグルココルチコイド誘導性キナーゼ (SGK) は、Akt と密接に関連するセリン / スレオニンキナーゼです。SGK は、血清、グルココルチコイド、卵胞刺激ホルモン、浸透圧ショック、ミネラルコルチコイドなど、様々な刺激に反応して速やかに誘導さ

れます。SGKの活性化は、HGF PI3K依存性経路およびインテグリンを介したPI3K非依存性経路によって達成されます。SGKの誘導および活性化は、抗アポトーシスおよび細胞周期制御の調節を活性化することに関与していることが示唆されています。

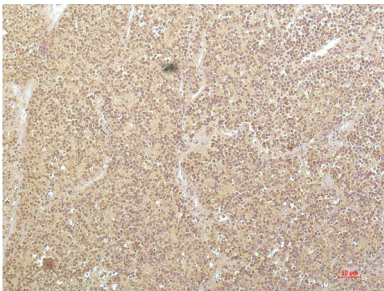
研究分野

シグナル伝達

画像データ



SGK1 (6E4) 抗体を使用したパラフィン包埋ヒト脳組織の免疫組織化学分析。抗原賦活化には高圧高温クエン酸ナトリウム pH 6.0 を使用しました。



SGK1 (6E4) 抗体を使用したパラフィン包埋ヒト扁桃腺の免疫組織化学分析。抗原賦活化には高圧高温クエン酸ナトリウム pH 6.0 を使用しました。